

歴史に出会う地域文化財の

教育的発掘

日程 平成二十四年十一月二十五日(日)
場所 兵庫県立考古博物館 兵庫県加古郡播磨町大中二―一―一

和文化教育

第九回 全国大会 東播磨大会

開会行事 11月25日(日)

《9:20~9:30》

講堂(1階)

研究発表会 11月25日(日)

《9:30~11:30》

第1分科会 講堂(1階)
第2分科会 体験学習室3(1階)

シンポジウム 11月25日(日)

《12:45~15:00》

歴史に出会う地域文化財の教育的活用と授業実践 講堂(1階)

《基調提案》文化財の教育的活用―兵庫県教育委員会の取り組み―
村上 裕道(兵庫県教育委員会文化財課)

《実践発表》古代人の心にせまる!

一年間を通しての小学校6年生での取り組み:考古博との連携―
水野 洋子(播磨町教育委員会)

科目「考古学」を担当してみても2年間の取り組みをとおして―
東内 淳(県立須磨友が丘高等学校)

高等学校における考古資料の活用方法

―資料活用能力の育成を覗んで―
三原 慎吾(県立明石北高等学校)

《指導助言》梶田 勲一(人間教育研究協議会代表・兵庫教育大学前学長)
村上 裕道(兵庫県教育委員会文化財課)

《司 会》村上 泰樹(兵庫県立考古博物館企画広報課)

ツアー活動 11月25日(日)

《15:30~16:30》

特別展「卑弥呼がいた時代」ツアー 館内展示室(1階)
博物館バックヤードツアー 地下1階2階(地下)
史跡大中遺跡ツアー 史跡大中遺跡

主催者 和文化教育研究交流協会 和文化教育第9回全国大会実行委員会

共催 兵庫県立考古博物館

後援 文部科学省(申請中)
加古川市教育委員会

兵庫県教育委員会
稲美町教育委員会

播磨町教育委員会
高砂市教育委員会

明石市教育委員会
日本教育新聞社

【和文化教育研究交流協会事務局】〒662-0827 西宮市岡田山7-54 関西学院大学教育学部

Tel&Fax:0798-52-4679

中村 哲

E-mail wabunka@kwansei.ac.jp

平成24年度 和文化教育 第9回 全国大会東播磨大会要項

1 開催趣旨

この大会では兵庫県立考古博物館との共催によって歴史に出会う地域文化財の歴史的意義と教育的意義を検討し、地域文化財の教育的活用を図ることを趣旨としています。

2 テーマ

歴史に出会う地域文化財の教育的発掘

3 主催 後援

主催 和文化教育研究交流協会 和文化教育第9回全国大会実行委員会

共催 兵庫県立考古博物館

後援 文部科学省(申請中) 兵庫県教育委員会 播磨町教育委員会 明石市教育委員会
加古川市教育委員会 稲美町教育委員会 高砂市教育委員会 日本教育新聞社

4 開催地及び会場

兵庫県立考古博物館

〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1

● 駅からのアクセス

JR土山駅から「であいのみち」を徒歩15分

山陽電車播磨町駅から喜瀬川沿いに徒歩25分

● 自動車をご利用の方

第二神明・加古川バイパス、明石西ICから約3km

博物館南側 播磨町大中遺跡公園駐車場(普通車専用)

播磨町野添であい公園駐車場(普通車専用)

5 日程

9:00	9:20	9:30	11:30	12:15	12:45	15:00	15:30	17:30
受付	開会行事	研究発表会	理事会	総会	シンポジウム	ツアーガイドダンス	特別展ツアー バックヤードツアー 遺跡ツアー	懇親会

理事会会場 会議室(地下1階)

総会会場 講堂(1階)

懇親会会場 聚仙楼(播磨町大中3-9-8 ☎0794-35-5716)



11月25日(日)

1. 研究発表会 《9:30～11:30》

第1分科会 講 堂(1階)

《司会》 五百住 満(関西学院大学) 志水 順(稲美町立天満南小学校)

①和文化・和の心を伝える小学校外国語活動におけるSkypeプロジェクト

東野 裕子(尼崎市立杭瀬小学校)

②地域とともにふるさとの伝統をつなぐ～総合表現“絆”の取組～

清水 真人(東広島市立高屋東小学校)

③地域芸能継承の取組～小中連携を通して～

寄原 洋子(東広島市立河内中学校)

④剣道が中学生の学習規律と学校適応感の形勢に及ぼす影響

井上 聡・浅川 潔司(兵庫教育大学大学院, 学校心理学コース)

前原 敏雄(前東広島市立志和中学校校長)

山本 浩二(近畿福祉大学)

第2分科会 体験学習室3

《司会》 森 一郎(和文化教育研究交流協会理事) 得能 弘一(兵庫県立神戸工業高等学校)

①中学校社会科歴史的分野における思考力形成を意図する文化史学習の授業開発

—歴史的価値判断型の授業モデルに基づいて—

吉田 翔大(兵庫教育大学大学院)

②高等学校日本史における伝統と文化に関する授業構成と授業開発

～中世・近世の伝統と文化に関する授業事例を手がかりに～

安田 博貴(兵庫教育大学大学院)

③学校設定科目「日本の文化」導入に向けて—兵庫県立芦屋高等学校の取り組みを事例に—

齋藤 尚文(県立芦屋高等学校)

④考古学研究での体験授業 ～古代の古い 亀ト(きぼく)～

岡 昌秀(県立伊丹北高等学校)

2. シンポジウム

歴史に出会う地域文化財の教育的活用と授業実践 《12:45～15:00 講堂(1階)》

《基調提案》 文化財の教育的活用 —兵庫県教育委員会の取り組み—

村上 裕道(兵庫県教育委員会文化財課)

《実践発表》 古代人の心にせまる! 一年間を通しての小学校6年生での取り組み:考古博との連携—

水野 洋子(播磨町教育委員会)

科目「考古学」を担当してみても—2年間の取り組みをとおして—

東内 淳(県立須磨友が丘高等学校)

高等学校における考古資料の活用方法 —資料活用能力の育成を睨んで—

三原 慎吾(県立明石北高等学校)

《指導助言》 梶田 叡一(人間教育研究協議会代表・兵庫教育大学前学長)

村上 裕道(兵庫県教育委員会文化財課)

《司 会》 村上 泰樹(兵庫県立考古博物館企画広報課)

3. ツアー活動 《15:30～16:30》

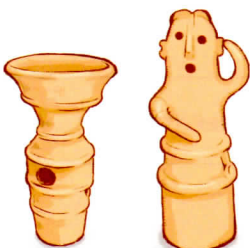
特別展「卑弥呼がいた時代」ツアー 県立考古博物館学芸課 館内展示室(1階)

博物館バックヤードツアー (公財)兵庫県まちづくり技術センター

埋蔵文化財調査部整理保存課 地下1階2階(地下)

史跡大中遺跡ツアー

県立考古博物館学習支援課 史跡大中遺跡



7 参加者

和文化教育協会関係者 学校教育関係者
和文化教育に関心がある市民等

8 参加費

会員 2,500円(入館費を含む。事前申込みの場合)
*当日参加会員の参加費は3,000円になります。

会員外 1,500円(入館費を含む。事前申込みも当日参加も可)

9 事前申込方法

会員の方は下記申込書を、郵送・ファックス・メールにて**大会事務局**へ**11月17日(土)**までに送付して下さい。(電話での受付はしません。)大会参加費及び懇親会費も事前申込締切日までに送付先郵便振替口座に送金して下さい。なお、入金後の返金はできませんので、ご了解下さい。

10 参加費等の送金先

《郵便振替》

口座番号 00930-6-227146

口座名称 和文化教育研究交流協会

11 大会先連絡

【第9回和文化教育全国大会事務局】

〒662-0827 西宮市岡田山7-5 関西学院大学教育学部 中村 哲
Tel&Fax:0798-52-4679 E-mail:wabunka@kwansei.ac.jp

《会員の方は申込書を11月17日(土)までにメール等を事務局にご連絡して下さい。》

大会参加申込書	氏名・所属	(ふりがな)		
		氏名	所属	
	連絡方法	電話	メール	
	参加希望ツアー	●特別展	●バックヤード	●大中遺跡 (希望者ツアーに○印を付けて下さい。)
	送金内訳	大会参加費/	円	懇親会費/5,000円
懇親会	出席	欠席	(どちらかに○印を付けて下さい。)	

※お申し込みの際ご提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。